
(仮称) J F A マッチコミッショナー認定制度



平成 19 年 12 月

財団法人日本サッカー協会

趣旨・背景

国内競技会におけるさまざまな競技上の問題に対処する為、試合会場でのマッチコミッショナー（以下 MC）の役割は重要となってきた。しかし、本協会が主催する競技会においてはMCの配置基準が明確でなく、競技会毎に独自に基準を設けていたのが現状であった。

アマチュアを主体とする競技会においても、来場者が観戦する機会が拡大してきている。観戦者へ安全面の配慮も必要であり、競技者にはフェアプレーの重要性と競技規則を厳守させ、サッカー競技の品位を保つように配慮をすることも重要となってきた。

そこで、アマチュアを主体とする競技会においても一定レベルのMCを配置し、さまざまな問題に対応することが必要となってきた。

については、公平性と大会実施要項に沿った質の高い運営を行うためにMCのレベルアップ目的とした養成制度を確立し、MCのスムーズな派遣・オペレーションの実施を目的とし、「(仮称)JFAマッチコミッショナー認定制度」を導入するものとする。

認定制度概要

□ 制度名称 (仮称)JFA マッチコミッショナー認定制度

□ 定義 本制度により認定を受けたMCを「JFA マッチコミッショナー」とする。

□ 所管委員会 財団法人日本サッカー協会 競技会委員会

□ 所管部署 財団法人日本サッカー協会 事業部 (国内グループ)
〒113-8311 東京都文京区サッカー通り (文京区本郷 3-10-15) JFAハウス
TEL 03-3830-2005

□ 制度概要

- (1) 本協会が主催する競技会のうち、指定する競技会は JFA マッチコミッショナー認定を受けた MC を会場に配置しなければならない。
- (2) 本制度の MC は、都道府県サッカー協会、各種連盟、本協会が推薦し、競技会委員会委員長が認定し、本協会理事会が承認する。
- (3) 本制度の MC は必ず年 2 回の研修を受けなければならない。
- (4) 本制度の MC は別途定める「役割」を担い、試合において財団法人日本サッカー協会を代表して行動し、常に厳正かつ客観的に任務を遂行すること。
- (5) Jリーグマッチコミッショナーは「JFA マッチコミッショナー認定」を受けているとみなされる。
- (6) マッチコミッショナーは、次の事項を遵守しなければならない。
 - 大会規程に定める時間まで競技場に到着すること。
 - 選手証により選手の試合における出場資格を確認し、「メンバー提出用紙」の記載事項に不備があればそのチームに訂正させること。
 - 大会規程に定める時間前に双方のチームの監督 (またはそれに代わる者) および審判員を集め、マッチコーディネーションミーティングを開催すること。
 - マッチコミッショナーは試合運営場で事前に取り決め事項を検証しマッチコーディネーションミーティングにおいて確認しなければならない。
 - 試合終了後 24 時間以内に競技会が指定する場所まで「マッチコミッショナー報告書」を発信すること。
 - 試合の中断または競技中の悪質な違反による退場等の重大な事項が発生した場合に所定の手続きにより「緊急報告書」をすみやかに指定する場所まで提出すること
 - 裁定委員会または規律委員会より出席を求められた場合に、これに出席し報告すること
 - 前各号のほか、別途競技会委員長の定める事項を行うこと。

- 認定期間 2月～翌年1月までの1年間
- 認定料 5,000円（当該年度の認定期間）
※認定者は指定期日、口座に個人名義で振り込みを済まさなければならない。
- 認定の証し 財団法人日本サッカー協会 競技会委員会委員長より委嘱状を付与

派遣競技会

以下の競技会において、JFA マッチコミッショナーを派遣するものとする。

[指定競技会]

- 天皇杯全日本サッカー選手権大会
- 高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会（準決勝・決勝）
- 高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会（準決勝・決勝）
- 国民体育大会サッカー競技

[各種連盟 競技会]

※以下の競技会は今後調整を行う

- 全国社会人サッカー選手権大会
- 全国地域サッカー決勝大会
- 全日本大学サッカー選手権大会
- 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント
- デンソーチャレンジカップサッカー
- デンソーカップ日韓戦
- 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会
- 全国高等学校サッカー選手権大会
- メニコンカップ日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)
- 全日本女子サッカー選手権大会

派遣方法と費用負担

□対象競技会

「指定競技会」は、JFA マッチコミッショナーを日本サッカー協会事業部より派遣する。
掛かる費用については大会実施委員会にて決定する。

□各種連盟への派遣方法

- ① 「各種連盟競技会」において、本制度のMCを派遣希望する場合は事前に競技会委員会委員長に申請しなければならない。掛かる費用は各種連盟の規程により負担するものとする。
- ② 以下の連盟においては、担当MCを専任させることができ、かつ連盟が定める規程により競技会へ派遣することができるものとする。
 - 日本フットボールリーグ（JFL）
 - 日本女子サッカーリーグ（Lリーグ）
 - 全国社会人サッカー連盟

<担当MCについて>

各種連盟の競技会は、全国リーグとして年間を通じた競技会を開催することとMC派遣方法を考慮して、下記の通り専任することが認められる。

- (1) 担当MCは各種連盟が定める規程により派遣することができる。
- (2) 担当MCは各種連盟競技会のMCを兼任することができるものとする。
- (3) Jリーグマッチコミッショナーは各種連盟競技会のMCを兼任することが出来る。

<天皇杯のMCについて>

天皇杯はアマチュアを主体とするチームが出場する回戦においては、JFA マッチコミッショナーが派遣される。Jリーグが出場する回戦からは、Jリーグマッチコミッショナー委員会より派遣を受けるものとする。

推薦～任命まで

- 推 薦
都道府県サッカー協会、各種連盟、JFA より推薦

- 選考・承認
 - (1) 資格条件を満たしている候補者を検討
 - (2) 競技会委員会にて審議、認定
 - (3) 理事会にて審議、承認

- 資格条件
 - (1) 「JFA の理念」「JFA のビジョン」に理解があること
 - (2) JFA 規約・規程に精通していること
 - (3) 競技規則に対する正しい理解があること
 - (4) 試合運営に対する知識があり、試合実施要項に精通していること
 - (5) サッカー発展のために建設的な意見を持っていること
 - (6) マッチコミッショナー業務に対して、積極的な姿勢があること
 - (7) 周辺関係者から信頼性と社会的地位があり、チーム等に対して説得力があること
 - (8) 年齢が 70 歳以下であること

- 任命
 - (1) 承認されたMCを競技会委員会委員長が任命

研修カリキュラム

1. マッチコミッショナーの一般事項説明
2. リーグ・大会開催規程の説明
日本フットボールリーグ（JFL）開催規程
日本女子サッカーリーグ（Lリーグ）開催規程
天皇杯全日本サッカー選手権大会開催規程
3. 競技規則の説明
4. レフェリー判定基準紹介
5. 競技および競技会における懲罰基準
6. JFA規約・規定（登録制度/ユニフォーム規程など）
7. JFAユース育成プログラムの説明
8. メディカル
ドーピングコントロール
9. マーケティング
TV放映権、スポンサーシップ
10. 運営上の事例紹介
11. 提出書類
マッチコミッショナー報告書
マッチコミッショナー緊急報告書
12. 事務手続

年間スケジュール

12月中旬 都道府県F A、各種連盟、J F A 推薦

翌1月中旬 推薦者審議

2月中旬 競技会委員会 J F A マッチコミッショナー認定
理事会承認
委嘱状発行

3月上旬 **認定講習会** 1日（予定）

3月中旬 J F L 開幕

4月上旬 なでしこリーグ開幕

7月下旬 **研修会** 1日（予定）

9月 天皇杯・高円18開幕
国民体育大会

10月 天皇杯・高円18決勝

12月 天皇杯・女子選手権・高円15

1月1日 天皇杯決勝・全日本女子